

株式会社 エスピーアイ

貸借対照表

2022年05月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>224,186</b>	<b>流動負債</b>	<b>63,918</b>
現金及び預金	176,205	買掛金	15,728
売掛金	19,679	未払金	12,386
前払費用	3,330	未払費用	1,237
未収入金	3,560	預り金	1,858
立替金	1,160	未払法人税等	31,280
預け金	20,000	未払消費税等	1,427
その他	380		
貸倒引当金	130	<b>固定負債</b>	<b>44,861</b>
		長期借入金	43,200
<b>固定資産</b>	<b>14,067</b>	リース債務	1,661
<b>有形固定資産</b>	<b>3,343</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>108,779</b>
建物附属設備	43	<b>純 資 産 の 部</b>	
器具・備品	1,790	<b>株主資本</b>	<b>129,473</b>
リース資産	1,510	<b>資本金</b>	<b>10,000</b>
		<b>利益剰余金</b>	<b>119,473</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>10,723</b>	利益準備金	700
関係会社株式	3,300	その他利益剰余金	118,773
長期貸付金	1,000	繰越利益剰余金	118,773
敷金	3,648		
繰延税金資産	2,774	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>129,473</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>238,253</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>238,253</b>

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純利益 54,047千円

# 個別注記表

自 2021年10月01日  
至 2022年05月31日

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式……総平均法による原価法

### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産除く)……建物 は 定額法、建物以外は定率法

リース資産……リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法

### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

### (4) 収益及び費用の計上基準

売上高は、原則として業務提供の進行に応じて計上しております。

ただし、事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められない案件については、成果が確実と認められた時点で計上しております。

### (5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式で計上している。

(追加情報)

当事業年度より、親会社との決算期の統一を図るため、当社の決算日を9月30日から5月31日に変更しています。

その結果、決算期変更の経過期間となる当事業年度の期間は、2021年10月1日から2022年5月31日までの8ヶ月間となります。

## 2. 会計方針の変更に関する注記

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)および「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転したと判断した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、当該会計基準の適用による影響はありません。

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式(発行済株式)

当期末株式数(発行済普通株式)

20株

## 4. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。